

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年12月20日

事業所名 エミナ富士吉原教室

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題・改善目標・工夫している点など	今後の対応について
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5				
	② 職員の配置数は適切であるか	3	2		エミナのサービス内容に見合う人材となり、早く1人前として扱ってもらったための努力、熱意はある。みんなが一人前として一人立ち出来たらもちろん足りている。	一人一人の能力の向上を目指し、支援員同士の話し合いや情報交換の場を設ける。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		3	1	階段の上り下りが出来ない子への配慮が必要	その都度支援員が補助を行う。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	2		カンファレンス職員間で話し合う内容の質が徐々に上がってきている。	シフト等の関係もあるため、可能な時間に行えるように時間調整を行う。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	3		まだまだ保護者には奥手だと思う。	保護者との信頼関係構築を図る。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	2	1		年に一度自己評価を行い、HPIに掲載している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	1		第三者委員会は設置していない。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1			オンデマンド研修等を活用している。今後も外部講習などにも参加していく。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3	2			
適切な支援の提供	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	2	2	感覚統合JSI-Rなどを使用している。	
	⑪ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで具体的な支援内容が設定されているか	2	3		何をどのようにという具体策は無い。その児童にとって支援が今後の社会生活における何につなげたらよいかがない。	担当者会議で話し合い、支援員全体で各児童の目標設定とその具体的な理由を考えていく。
	⑫ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1	4		計画に書かれている字義の奥を考えようとしている。	
	⑬ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2	1	指導員それぞれがやってみて、他の指導員にフィードバックをもらう体制がある。	各々に任せるとはせず、その場やタイミングを設け確実にできるようにする。
	⑭ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	2		固定化→パターン化の意味合いと、固定化しないことによる意味合いは理解して設定できているか不明	不明な点は極力解消できるよう、明文化を行う。
	⑮ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3	2			
	⑯ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	3	1	カンファレンスの定期化は出来ている。	

	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	3	1	カンファレンスの定期化は出来ている。	
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	1	3			
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	2			共通理解、認識が出来るようにしていく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	母子健康や子ども、子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	2			共通理解、認識が出来るようにしていく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育などの関係機関と連携した支援を行っているか		1	1		
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関などと連携体制を整えているか		1	1		
	㉔	保育所や幼稚園、認定こども園、特別支援学校(幼稚部)との間で移行に向けた支援内容などの情報共有と相互理解を計っているか	3	1	1		
	㉕	小学校や特別支援学校(小学校部)との間で移行に向けた支援内容などの情報共有と相互理解に努めているか		3			
	㉖	他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3			モニタリングの際に助言を受けている。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか		2	4		活動することは難しい。
	㉘	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		4	1		
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	2		全保護者ではない。	保護者によってほしい情報やその量に差異があるため、見極めていく。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1	1		外部講習を活用する等の方法を模索していく。

保護者への説明責任等	③①	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1	4			
	③②	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達計画の同意を得ているか	4	1			
	③③	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	3		出来る職員と出来ない職員がいる。	まずは出来る職員に助言と支援を行った内容を解説してもらい、職員間で理解を深めていく。
	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	4		
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1	1		
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		3	2		SNSや月報等を検討する。
	③⑦	個人情報に十分注意しているか	4	1			
	③⑧	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	2	2			
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	4		事業所の建物上、地域住民を招待するほどの大きな行事は難しい。
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5				
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5				
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3	1			
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		3			
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5				
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1			
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	1	3			

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日: 2024年12月12日

事業所名: 児童発達支援 エミナ富士吉原教室

対象人数(保護者) 31人 回答者数 24人 回収 77.4%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	1	
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	24		
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	3	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24		
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24		
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24		
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	24		
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1	
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24		
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24		
保護者 への 説明等	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	9	5
	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	1	
	⑬	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	2	
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	7	6
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	3	
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	4	2
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1	
	⑱	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	3	
	⑲	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24		
	⑳	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	3	2
非常時 等の 対応	㉑	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1	
	㉒	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	8	2
	㉓	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	5	2
	㉔	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	4	
	㉕	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	3	
満足 度	㉖	こどもは安心感をもって通所していますか。	24		
	㉗	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	1	
	㉘	事業所の支援に満足していますか。	24		